

日本の食と農を考える 2022 年度公開研究会のお知らせ

第 1 回 「日本の最近の肥料事情」

2022 年 6 月 13 日 日本科学者会議食糧問題研究委員会

異常気象や生産基盤の脆弱などもあれば、さらに円安やウクライナ危機などの政治情勢にもより、我が国においても食糧危機に直面しつつあります。こうした中で、国会では川田龍平議員を中心に「ローカルフード法案」（地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案）の議論が進み、東大の鈴木宣弘教授は食料安保推進財団をこの 3 月に立ち上げました。

そこで多方面の関連する現状からの報告を受け、日本の食と農の在り方を考えます。コロナ禍の影響はまだ残念ながら続くので、ZOOM を使い多くの方と議論を深めますのでぜひご参加ください。

なお 2 回目以降は当面以下を予定しています。

8 月 2 0 日 (土)	「ゲノム編集食品の現状と課題」 (仮)	吉森弘子
9 月 1 0 日 (土)	「食品の表示の現状と課題」 (仮)	原 英二
1 0 月 1 5 日 (土)	「生協産直の動向」 (仮)	西村一郎

記

①テーマ 「日本の最近の肥料事情」

②概要

2021-2022 年は中国のリン酸肥料の輸出規制に始まり、ロシアのウクライナ侵攻問題によって、農業とりわけ肥料業界には激震が走っています。

農産物の生産にとって肥料は重要な役割りを果たし、化成肥料は食料増産に大きく寄与してきました。

今回の報告は、原料の多くを輸入に頼っている日本の肥料事情を中心に、肥料の歴史や肥料の特性、みどりの食料システム戦略、環境保全型農業の現況を織り交ぜ、これまでの化成肥料に頼った農業からの変革を考えてみます。

③報告者 真鍋 和裕

日本科学者会議食糧問題研究委員会 株式会社関東農産研究開発部長

④スケジュール

7 月 9 日 (土)

1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 0 5 開会挨拶

1 4 : 0 5 ~ 1 5 : 0 5 「日本の最近の肥料事情」報告

1 5 : 0 5 ~ 1 6 : 0 0 質疑応答と議論

⑤参加

無料です。希望者は下記へ当日接続してください。

<https://us06web.zoom.us/j/89513825209?pwd=WW1HaTQ5bmE0dWUxNGZpciJPZ0ZXZz09>

ミーティング ID: 895 1382 5209

パスコード: 291785

このテーマにご興味のある方がいましたら、お誘いをよろしく申し上げます。

以上です。